安全上 し注意 ● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り 付けをおこなってください。

● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々 への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や 損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じ ることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いず れも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

一 警告: 人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容。

人が傷害を負う可能性および物的損害の みの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



・大工工事【設置のための下地工事等】

○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や 近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描 かれています。 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるもので

す。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラ

グをコンセントから抜いてください)が描かれています。

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解 したり修理・改造をしないこと 分解・修理・ 発火・感電したり、異常動作してけがをする 取付注意 改造禁止 おそれがあります

排気工事をされる場合は建築基準法 (同施行令)および消防法などの関連 法規に従って法的有資格者が工事を 取付注意 おこなうこと 火災などの原因になります

配線工事は電気設備技術基準や内線 規程に従って法的有資格者が工事を おこなうこと 取付注意 誤った配線工事は感電や火災のおそれがあり

ます ● アースを確実に取り付けること 故障や漏電のときに感電するおそれがあります アースの取り付けは販売店にご相談ください

10cm 以上離すか、不燃材料を使 用して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは所轄の消防署に問い合わせてく ださい

取り付けること

● レンジフードの壁への埋め込みはし 埋込禁止 漏電した場合、発火するおそれがあります

⚠ 警告

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、

または金属板張りの木造の造営物に

製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、

金属板とが電気的に接触しないよう

漏電した場合、発火したり感電するおそれ

● 本体とダクトは、可燃物との間を

● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網 など)と接触しないように取り付けること 金属製ダクトが貫通する場合、金属 取付注意 漏電した場合、発火するおそれがあります

● 交流 100 V以外では使用 □100V しないこと

火災・感電の原因になります

● 自然排気型のストーブを使用するときは、 空気の取入口(給気口)により十分給気さ れる配慮をすること 取付注意 排気ガスが室内に逆流し、 一酸化炭素中毒を起こす おそれがあります

注意

● 取り扱いの際は必ず厚手の手袋を すること 手袋をする 鋼板の切り口や角でけがを するおそれがあります

おこなうこと

おそれがあります

落下によりけがをする

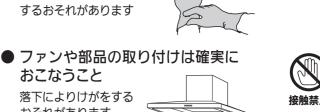
● レンジフードの取り付けは、

で確実におこなうこと

落下によりけがをする

おそれがあります

十分強度のあるところを選ん



● 浴室など湿気の多い場所では絶対 に使わないこと(浴室用換気扇を お使いください。) 使用禁止 感電および故障の原因になります

運転中は指や物を絶対に入れない 接触禁止 けがをするおそれが あります

● 周囲温度が 40℃以上になる所には 取り付けないこと 火災・故障の原因になります

取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が おこなう必要があります。
- ・ 配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接 ・ 管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】
- 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組 立・設置」を区別しておこなってください。
- ダクトの不燃処理について
- ・ ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃 認定品の不燃材料で被覆してください。 ・ 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従っ てください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。 調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。 排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵 抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。 防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用 しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果を いちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

80cm 112

少一 50cm 以上

- 製品は調理機器の真上に取り付けてください。 なお、製品取付高さは、製品の下端が調理機器 の真上 80cm 以上になるようにしてください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付け
- ないでください。 また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。 湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。
- ください。火災・故障の原因になります。 ● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

● 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けて

- 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換 気のために他の換気扇と併用していただければ、より優れた換気ができます。 ● 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてく
- 寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので断熱 材を巻くなどの対応をしてください。

取り付け前の調査と準備

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解した り修理・改造をしないこと 分解・修理・
- レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス)
- 本体とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物

● レンジフードの壁への埋め込みはしない 埋込禁止 漏電した場合、発火するおそれがあります

● 取り扱いの際は、必ず厚手 🥠 の手袋をすること それがあります

取り付けないこと 火災・故障の原因になります 取付禁止

● レンジフードの取り付けは十分強度のある ところを選んで確実におこなうこと 落下によりけがをするおそれ 取付注意 があります

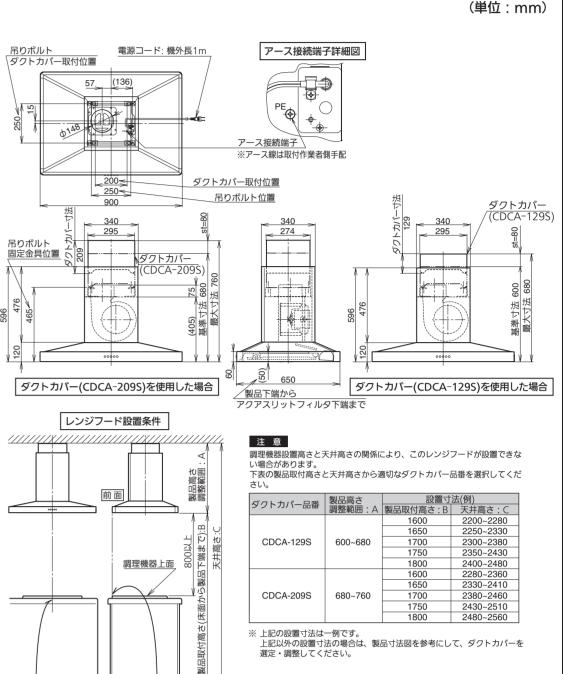
取付面の強度確認 製品を支える強さ 製品質量 25.0kg

■電源コンセント・ブレーカー **3** 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置して ください。(交流・単相 100V)

ソフトテープ 1本 のに使います。

ダクトカバー

(別売部品)



製品寸法図

1. 付属品の確認

<u></u> 注意

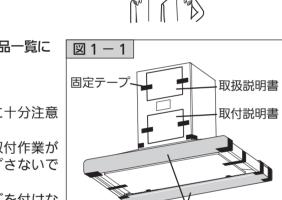
● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります 手袋をする

● 作業は2人以上でおこなうこと 製品は 25kg の重さがあります 取扱注意

梱包箱から付属品を取り出し、上項の付属品一覧に 図1-1 より不足がないか確認します。 お願い

・取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意 してください。 保護用のクッション材と固定テープは取付作業が 完了するまでキズ、破損防止のためはずさないで

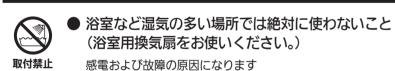
ください。(図1-1) 床で作業する場合、本体および床にキズを付けな いため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなっ てください。



エアキャップ

2. 取付準備

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に 金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、 金属板とが電気的に接触しないように取り付けること 漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は建築基準法(同施行令)および消防法などの 関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと 火災などの原因になります
- 本体とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用 して可燃物を覆うこと 火災などの原因になります 詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

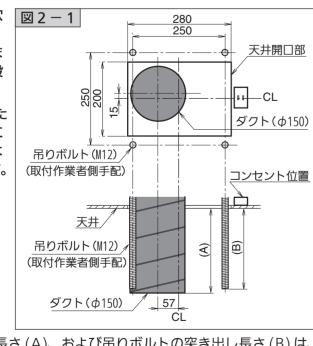


● 周囲温度が 40℃以上になる所には取り付けないこと 火災・故障の原因になります 使用禁止

右図を参照し、天井面にダクト穴 図2-1 を開けます。(図2-1) また、天井開口部近くの補強桟ま たは野縁等に専用コンセントを設 置します。

🥊 φ 150 のステンレスダクト、また ▲ はスパイラルダクトを図のように レンジフードの上部に突き出すよ うにセットし、周囲を仕上げます。

2 M12 の吊りボルト(取付作業) ■ 者側手配)を4本、天井内の梁 などの頑健な部分に固定します。 固定ピッチは前後、左右とも 250mm です(製品寸法図参照)。



お願い

天井面からのダクトの突き出し長さ (A)、および吊りボルトの突き出し長さ (B) は、 製品高さ(調整範囲:600 - 760mm)により異なります。製品寸法図を参考にして、 次式により算出してください。 ダクトの空き出し長さ(A) + 10 = 「製品喜さ」 - /35

サントの失き出し長さ (A) エー10 ― 「製品高さ」 ― 435 吊りボルトの突き出し長さ (B) ± 10 = 「製品高さ」 ― 440 (単位: mm)		
例)		(単位:mm)
製品高さ	ダクト突き出し長さ (A)	吊りボルト突き出し長さ (B)
750	315 ± 10	310 ± 10
700	265 ± 10	260 ± 10
650	215 ± 10	210 ± 10
600	165 ± 10	160 ± 10

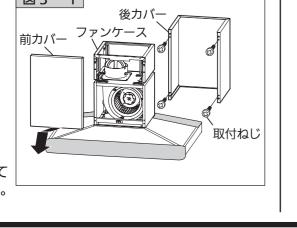
※「製品高さ」寸法は、「使用するダクトカバー(別売部品)」、「製品取付高さ」 および「天井高さ」によって異なります。製品寸法図欄のレンジフード設置条 件を参考にして決定してください。

3. 本体の準備

ずします。(図 3 - 1) 1) 前カバーは下側を手前に引き、下へ

ファンケースの前カバー・後カバーをは

- ずらしながら取りはずします。 2) 後カバーは取付ねじ4本をはずし、
- 左右に少し広げるようにしながら後 方へ取りはずします。 お願い
- 取りはずしたねじは、「7.組み立て」にて 再度使用しますのでなくさないでください。

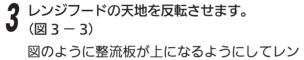


- 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそ 改造禁止 れがあります
- 網など)と接触しないよう取り付けること 取付注意 漏電した場合、発火するおそれがあります
- を覆うこと 取付注意 火災などの原因になります
- て法的有資格者が工事をおこなうこと 取付注意 火災などの原因になります

鋼板の切り口や角でけがをするお 手袋をする

● 周囲温度が 40℃以上になるところには

∮ 排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。 図3-2 ▲ (図3-2)



ジフードを置いて作業してください。

▲ 整流板をはずします。(図3-4)

2) 整流板の前側を固定している左右の 突起を押し込みながら前側をゆっく

3) 整流板を 10cm 程度開いた状態で、

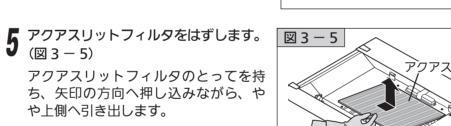


図3-4

10cm程度開ぐ

整流板

図3-3

6 本体とファンケースを分離します。 (図 3 - 6)

します。

それがあります。

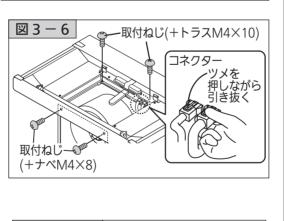
お願い

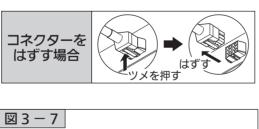
1) 取付ねじ4本(各2本)をはずします。 2) 電気配線のコネクター 2 ヶ所をはず

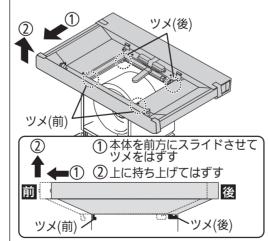
・取りはずしたねじは「4.本体の取り 付け」にて再度使用しますのでなくさ ないでください。 コネクターをはずす際は、ツメの部分 を押しながら、まっすぐ引き抜いてく ださい。無理にひっぱると断線するお

7 本体を取りはずします。(図 3 - 7) 1) 本体を前方へスライドさせて前後各 2 ヶ所のツメからはずします。

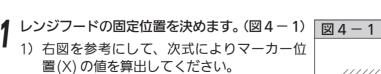
2) 本体を上に持ち上げてファンケース からはずします。



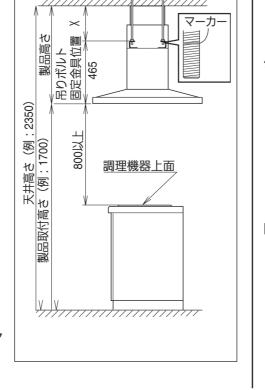




4. 本体の取り付け



- X = 「製品高さ」 465 ※「製品高さ」寸法は、「使用するダクトカ バー(別売部品)」、「製品取付高さ」およ び「天井高さ」によって異なります。製品
- さが 2350mm の場合 (製品高さ= 650mm): X = 650 - 465 = 185天井からのマーカー位置(X)は
- 2) 吊りボルトの天井から X の値の位置にマ ジックペンなどでマーカーをつけます。



排気口 ▲ (図4-2)

♥ (図4-4)

との固定ができなくなります。

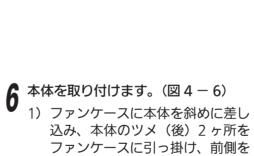
 M12 のナット (取付作業者側手配) を吊り (図4-3) お願い

ファンケースを吊りボルトに固定します。

1)ファンケースを持ち上げて4ヶ所の吊 り金具に吊りボルトを差し込み、吊り 金具を挟み込むように吊りボルト下側 をしっかりと締め付けます。

ンケースを取り付けてください。 2) 電源プラグを天井裏などのコンセント に差し込みます。

取ってください。 【 ダクトカバーとファンケースを固定します。 図4-5 (図4-5) 付属品のトラスねじ4本で前後各2ヶ所を



固定します。

持ち上げます。ツメ(前)2ヶ所 がファンケースの角穴に差し込ま れるまで奥にスライドさせます。 2) 「3. 本体の準備」手順 6 にては ずした取付ねじ4本(各2本)

※ 前側と下側で取付ねじの種類が異 なりますので注意してください。

お願い ・コネクターの接続は確実におこなってください。接続が不十分な場合、レンジフー ドが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は 挟まないようご注意ください。



45mm以上

シャッター軸、





使用ください。)

15mm以 |

- 排気□

ダクト接合部へ風漏れ防止のテーピング (アルミテープ)をおこないます。(図5-2)

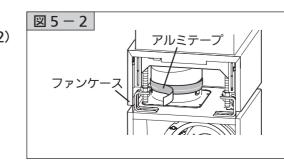


図5-3

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレン ジフードの排気□を接続しようとすると、排気□と排 気□の設置面(製品天面等)が変形し、風漏れが発生 してしまう場合があります。 風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転) をおこなってください。 漏風する場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ 等(現場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります 分解・修理・ 座付ねじ 切り欠き 改造禁止 ● 交流 100 V以外では使用しないこと 火災・感電の原因になります ナット 使用禁止

| マーカー

コンセント

工事をおこなうこと 誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります (取付作業者側手配) ● アースを確実に取り付けること 故障や漏電のときに感電するおそれがあります アースの取り付けは販売店にご相談ください アースを

¶ アース(D種接地工事)を取ります。

(「4. 本体の取り付け」手順 4 でおこなってください。)

取り付ける

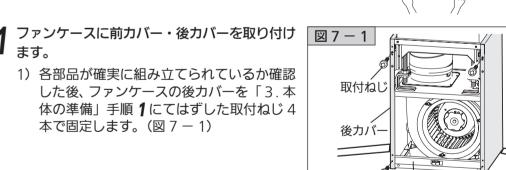
※アース線は取り付け作業側にて手配します。 ♪ 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。 お願い

・電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A、125V)およびブレーカーを 設けてください。 ・コンセントは電源コードの長さを考慮して設置してください。

7. 組み立て

注意

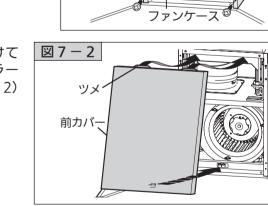
● ファンや部品の取り付けは確実におこなうこと 落下によりけがをするおそれがあります 取付注意



100V

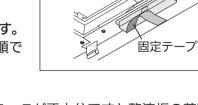
2) 前カバーは上部のツメを引っ掛けて 図7-2 上方へずらしながら下側のローラー キャッチをはめ込みます。(図7-2)

本で固定します。(図 7 - 1)



¶ オイルパックを固定しているテープを取り除きます。 図 7 − 3

アクアスリットフィルタ・整流板を取り付けます。 5 「3. 本体の準備」で取りはずしたときと逆の手順で 取り付けます。

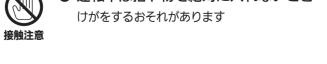


整流板の固定は確実におこなってください。ロックが不十分ですと整流板の落下の 原因になりますので、取り付け後、再確認してください。

₫ 残っているエアキャップや固定テープなどをすべて取り除きます。

8. 試運転

● 運転中は指や物を絶対に入れないこと けがをするおそれがあります



スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。 ■ 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。 ■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。 ■ 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。

■ 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。

ますのでご注意ください。 9. お客様への説明

■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となり

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。 ■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

富士工業株式会社

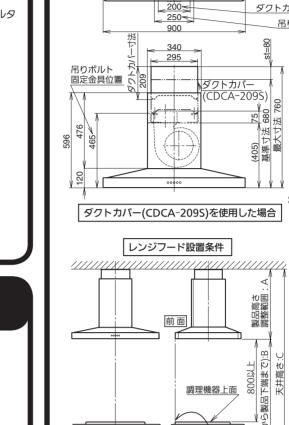
- 詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください
- 排気工事をされる場合は建築基準法(同施 行令)および消防法などの関連法規に従っ

注意

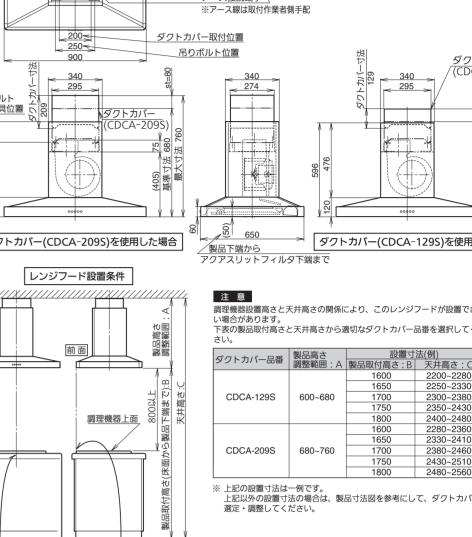
が必要です。 レンジフードの本体は M12(市販品)の吊りボルト 4本を使用し、天井内の梁などへ取り付けます。 ※ 吊りボルトは耐荷重 200kg /本となるように取り 付けてください。

🤈 別売部品の準備

- ダクトカバー 一 ファンケース 前カバー・ ファンー アクアスリットフィルタ (グリスフィルター) 本体 - オイルパック ランプカバー



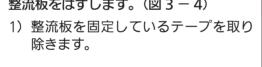
調理機器はレンジフード 調理機器はレンジフードの前端 の真下にくるように設置 からはみ出さないように設置し

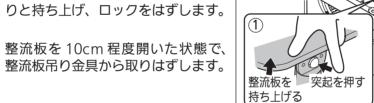


6. 電気配線

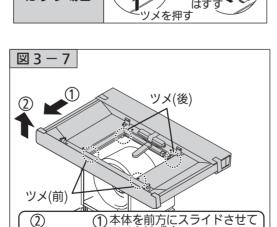
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が

取り付けかた





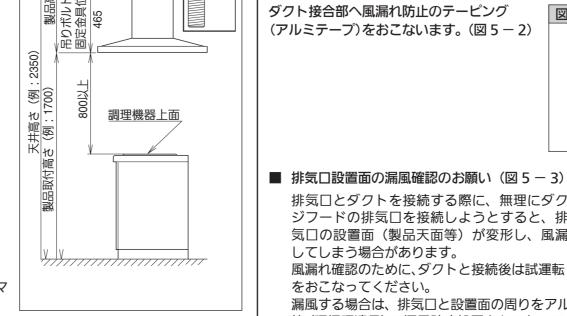




選んで確実におこなうこと 落下によりけがをするおそれがあります

● 本体の取り付けは十分強度のあるところを

- 寸法図欄のレンジフード設置条件を参考 にして決定してください。 例:製品取付高さが1700mm、天井高
- 185mm となります。 ※ マーカー位置が 135mm より小さい場合 は取り付けできません。その場合は製品特 注にて対応可能な場合がありますので、販



標準取付寸法 本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面 から製品の下端まで80cm以上です。

をご使用ください。

¶ ダクトカバー(別売部品)を取り付けます。 図4-2

お願い 切り欠きのある面をレンジフード本体の前後方向 にしてください。向きを間違えるとファンケース

ダクトカバーを座付ねじ4本で天井面に固定

座付ねじはダクトカバーに付属しています。

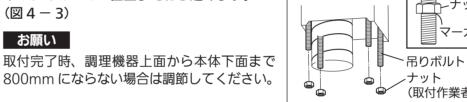


図4-4

ダクトカバー

ダクトー

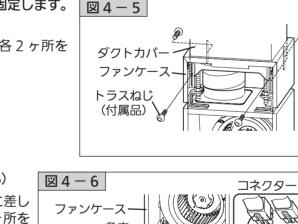
ファンケース

吊り金具

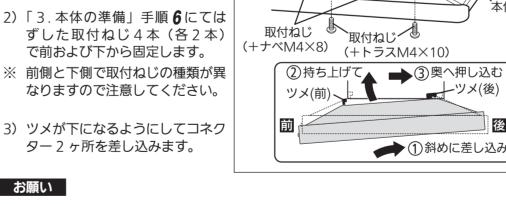
排気口

から M12 のナット(取付作業者側手配) お願い ダクトに排気口を差し込みながらファ

お願い 必ずアース(D種接地工事)を同時に



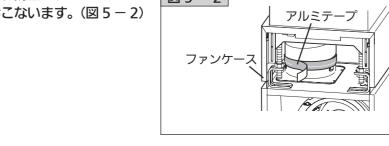
、角穴 🗸 ツメ(後) 取付ねじ



コネクターを 挿入する場合 前後に動かしても数けないこと 正しい差し込み方

ドリリングタッピンねじなどで排気口を 固定する場合は、シャッターにねじがあ たらないように図を参照してドリリング タッピンねじ使用範囲以内に固定してく ださい。(図5-1)

お願い



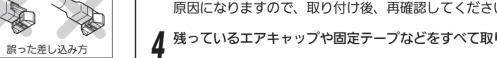


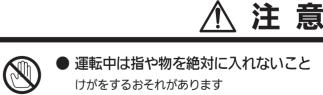
<u></u> ダクト

1 斜めに差し込み ▲ (図7-3)

お願い _

ます。





本社・営業部 〒 252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 - 9 TEL 042(768)3754(営業部)

売店にご相談ください。

7 吊りボルトの設置

- **5** 排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。
- ※ 火災予防条例では、グリス 80cm silk フィルターの下端が調理 機器の真上 80cm 以上必要 となっています。

コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V お願い

整流板

(2) 整流板

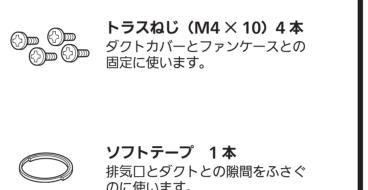
吊り金具

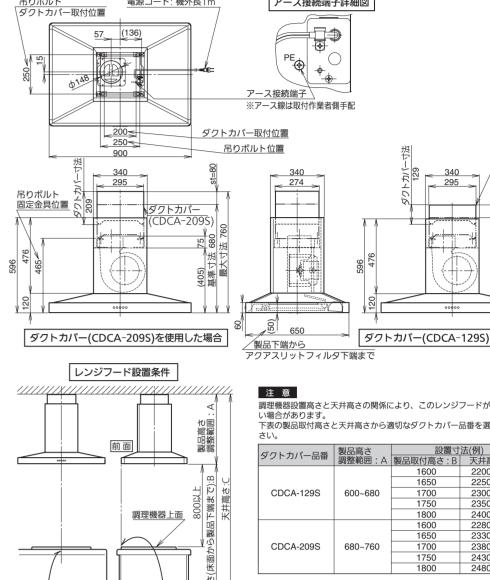
整流板

ファンケース

各部のなまえ

付属品





必ずアース(D種接地工事)をしてください。 レンジフードが誤作動するおそれがあります。